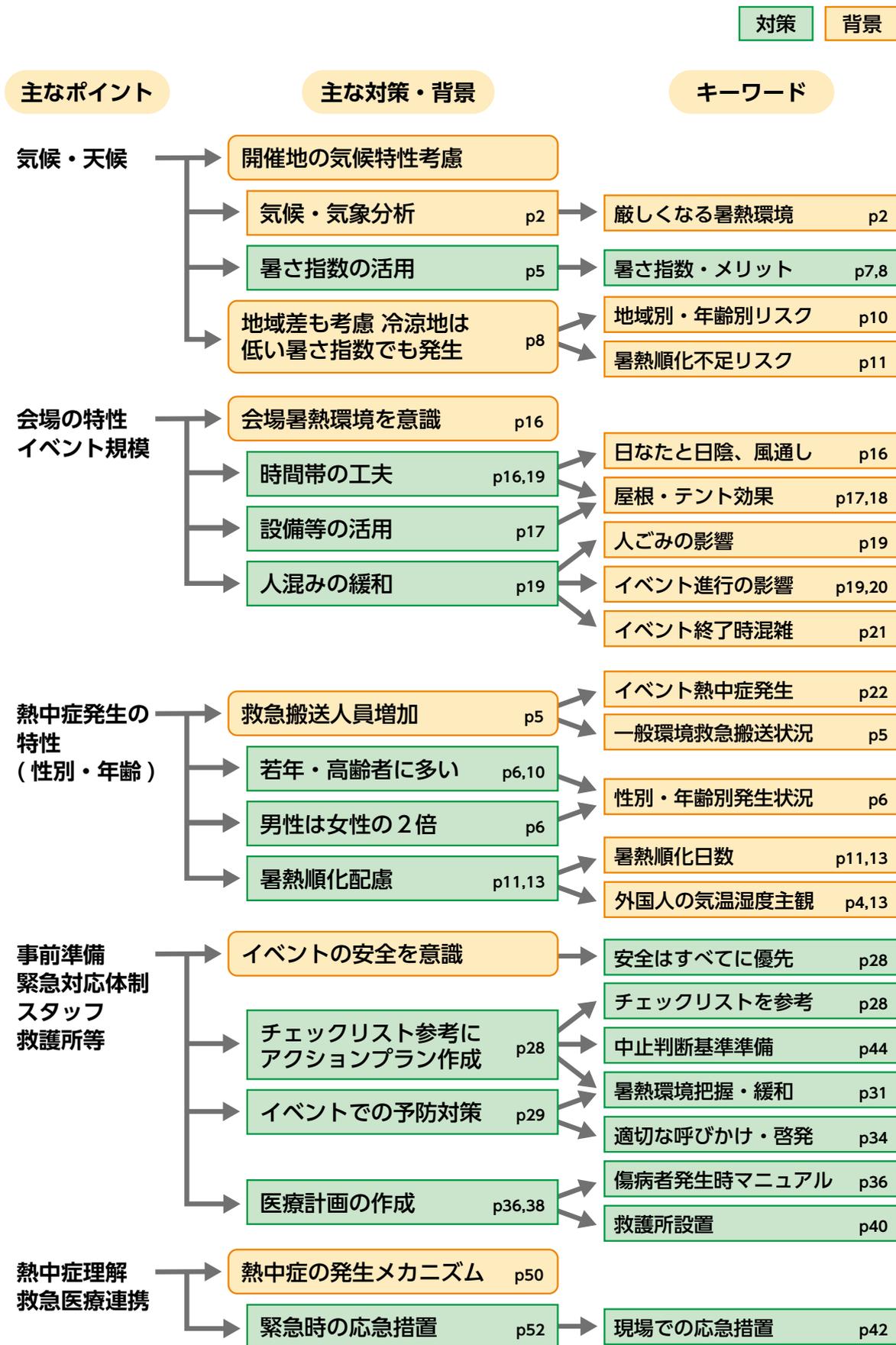


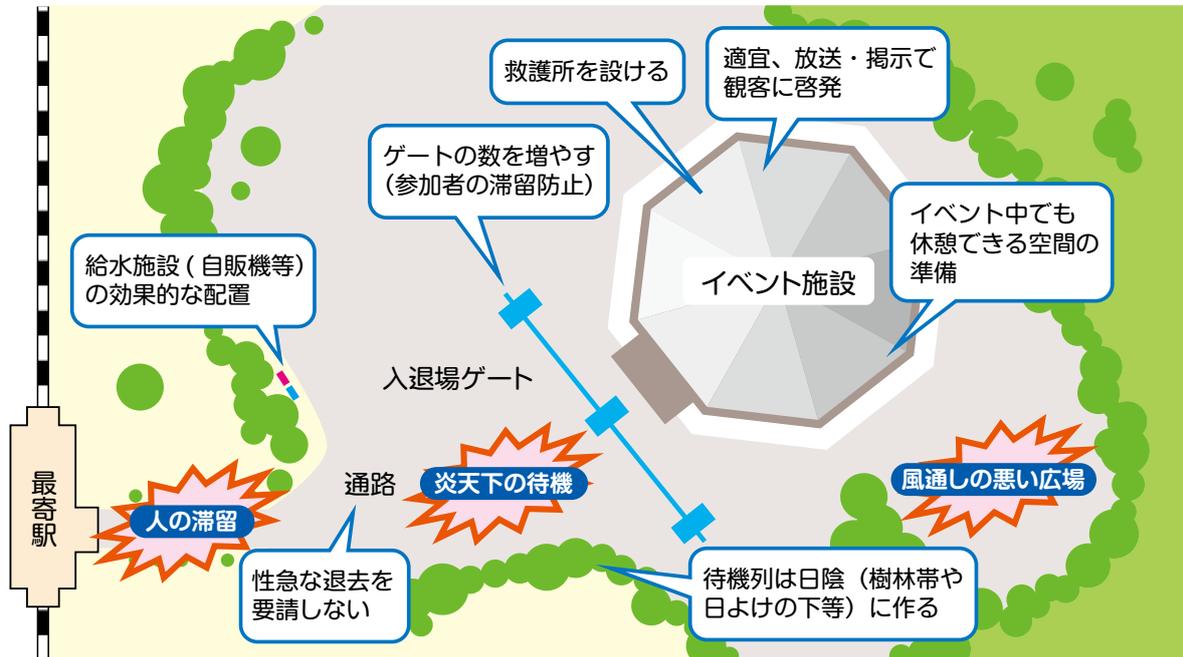
夏季イベントにおける熱中症対策の主要ポイント

イベント運営での熱中症対策のポイントや対策と関連するキーワードの参照ページです。
本ガイドラインで必要な情報を探さいにご利用ください。



熱中症 対策と緊急時の要点

夏季のイベントにおける熱中症対策



イベント会場における暑熱環境の緩和



注意が必要な箇所

- 入場待ちの長蛇の列
- 列が日なた



整理券や指定席の活用
待機列を日陰に誘導
ゲートを増やす
暑さ対策を呼びかける

- のどが渴いたのに売店がない
- 自動販売機が売り切れ



給水所、自販機、売店
をわかりやすく
欠品防止

- トイレはどこか聞きたいのに
スタッフがいない
- 誰がスタッフかわからない



わかりやすい服装
声をかけやすい雰囲気
放送で案内

熱中症の予防法



緊急時の応急処置

もし、あなたのまわりの人が具合が悪くなってしまったら……。落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の措置が肝心です。

傷病者の発生

チェック1

熱中症を疑う症状がありますか？

(めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温)

いいえ

一次救命処置の手順
(51頁)を参照



はい

チェック2 呼びかけに応えますか？

いいえ

救急車を呼ぶ



救急車が到着するまでの間に応急処置を始めましょう。意識がないのに無理に水を飲ませるはいけません

はい

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす



大量に汗をかいている場合は、塩分が入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水がよいでしょう

チェック3 水分を自力で摂取できますか？

いいえ

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす



氷のう等があれば、首、脇の下、太腿のつけ根を集中的に冷やしましょう

はい

水分・塩分を補給する

チェック4 症状がよくなりましたか？

いいえ

医療機関へ



本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発症時の状態を伝えましょう

はい

そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう

「熱中症の疑いがある患者について医療機関が知りたいこと」(43頁)も確認してください。